

県小中学教研会報

発行 石川県小中学校教育研究会
 金沢市尾山町10番5号
 石川県文教会館内
 電話(076)262-4916

編集 石川県小中学校教育研究会
 広報部

印刷 株式会社 山 越



第4回研究大会 郡市町教育研究会協議会（県地場産業振興センター）

不断の授業改善



石川県小中学校教育研究会

副会長 山田 裕司

石川県小中学校教育研究会は、今年度五年目を迎え、八月には第四回研究大会を開催することができました。石川県教育委員会、石川県市町教育長会を始め、関係機関の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。

同月、中央教育審議会教育課程企画特別部会より発表された次期学習指導要領に向けた審議のまとめを見ると、学習指導要領が学校教育を通じて子ども達が身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容、学び方の見通しを示す「学びの地図」として、

教職員のみならず、子ども自身が学びの意義を自覚する手がかりとしたり、家庭・地域等において幅広く活用することを指すとされています。

また、内容もこれまでの改訂の中心であった「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加えて「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点から学習指導要領を改善すると示されています。①学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結び付けていく「主体的な学び」、②多様な人との対話や先人の考え方（書物等）で考えを広げる「対話的な学び」、③

学習対象と深くかわり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いをもとに構想・創造する「深い学び」といった学習プロセスを重視した学び全体の改善でもあります。それを教師一人一人が工夫し実践し続ける「不断の授業改善」が、今後、更に強く求められることでしょう。

「見つける」ということは、目や耳を使って探すということ。「わかる」ということは、自分の中に残るということ。「考える」ということは、自分の中で生み出すということ。

「聞く」ということは、相手が伝えたいと思っていることを考え、受け止めるということ。「伝える」ということは、どうにかして相手にわかってもらう努力をするということ。

子ども達自身が自らの学び方を獲得していく学習の自立化につながる授業改善も同時に進めていく必要があります。本会もその具現化の一端を担う自覚のもと、石川県の子ども達のため、更なる指導力の向上をめざしていきましょう。

学び続ける人間教師として…。

《研究会紹介》

羽咋市教育研究会

羽咋市教育研究会は、小学校六校と中学校二校を合わせた八校、教職員百三十五名で構成されています。

本会は、学校教育に関する諸問題を研究し、あわせて児童生徒の文化的・体育的活動を促進することをもって本市の学校教育の振興を図ることを目的に、

- ①小中学校の教育課程の研究
- ②学校施設の改善充実
- ③各種研究会・講習会の開催
- ④児童生徒を対象とする文化活動・体育的活動の推進
- ⑤教職員研究物の審査
- ⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業

以上六つの事業を行っています。本会の事業の特徴として挙げられることは、事業⑤の教職員研究物の審査・表彰を行うことです。毎年十一月下旬に教職員研究物審査のための教職員研究物審査検討委員会が設置されます。

教職員研究物審査検討委員会は、教研会長より一任されたリーダー二名を中心に、各学校代表一名ずつで組織され、目的計画、実践、検証・改善、ニーズの観点から点数化し、評価を

行ってきました。

平成二十七年度は、各学校と一グループより研究物の応募があり、審査を経て、総会において表彰されました。

また、一昨年度より、研究物に掲載された指導案については、共有・活用することで、教職員の資質向上を図る目的としてデータベース化され、各学校に配布されています。

しかし、近年、本市においても指定研究等が増えてきており、研究の目的や内容が学校ごとに大きく異なり、これまでのように評価することが難しくなってきました。研究物審査をやめることも協議員研修会で話し合われました。

しかし、研究物審査の目的である『研究を通して得た成果と課題を、市内の全教職員で共有する』機会を残すべきだという意見でまとまり、今年度より、



理科部会の研究授業の様子

審査検討委員会を検討委員会に変更し、応募された教職員研究物を観点ごとにまとめ、総会において成果と課題を講評として知らせることにしました。

無くすることは簡単ですが、残すことは、大きな勇気と努力を必要とします。今年度、本会として大きな財産を失うことなく、形を変えながら残せたことは大きな成果だと考えています。

今後、変化する現状に対応しながら、本市の学校教育の振興のために、努力を惜しまず、本会として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

最後に、本会には六十二年間続いている児童生徒の文集「こぶな」があります。作品を通して、その時を過ごした児童生徒の思いに触れるとき、本会のこの宝物を編集・発刊し続けていくことの大きな責任を感じています。

(文責 羽咋市立邑知小学校 内田 一哉)

河北郡市学校教育研究会

河北郡市学校教育研究会は、小学校二十校、中学校六校の計二十六校、会員約六百名で構成されている。なお、平成三十年度は、内灘町に白帆台小学校が開校し、一校増える予定となっている。

本会は、学校教育に関する各

種の研究を行ない、本郡市教育の振興を図ることを目的として、昭和三十三年に発足した。

現在、校長会を始め、十四の事業部会がある。各部会は校長を部長として、部会ごとに計画を立てて活動しているが、音楽会や器械運動交歓会等の行事も含め、原則水曜日の開催としている。

①小学校・中学校教育課程研究会

会員全員がいずれかの教科に所属し、年に四回の研修会を開催し、研究授業や研究協議を行い授業力の向上に努めている。年度末には、小中学校それぞれに、研究集録を作成し、すべての学校に配付し成果を共有している。

②小学校・中学校文化連盟

音楽会や科学研究物審査会、図画・美術作品展や書写作品展を実施している。どれもが鑑賞できるように、図画・美術作品や書写作品は、すべての学校で巡回展示している。

③小学校学年研究会

一年から六年をそれぞれAとBに分けた十二の学年部会をつくり、自分が担任している学年部会に所属する。担任以外にもどこかの部会に所属する。年に一回の部会ではあるが、研究授業を参観するとともに、その学年に応じた課題について協議し合

う。同じ学年の担任同士なので、学級経営について課題を共有しやすく、お互いにアドバイスし合えるなど、若手教員にとっても、たいへん有意義な会となっている。

この他に、今年度は会員を対象とした自主研修会を開催した。鳴門教育大学大学院教授、村川雅弘氏をお招きし、「次期学習指導要領が求める授業づくり・学校づくり」と題してご講演していただき、今話題のアクティブ・ラーニングやカリキュラム・マネジメントについて学ぶ機会を設けることができた。



近年、河北郡市も他郡市同様急速に若返りが進んでいる。若い教職員には、本会の役割や取組を十分理解してもらい、さらに研鑽を深め指導力を身につけてほしいと願っている。

(文責 かほく市立金津小学校 中田 一朗)

石川県小中学校社会科教育研究会

本研究会は、昭和四十四年度に金社研として発足し、四十七年間に渡り、社会科の授業研究を中心に研究を進めてきた。その間少しずつ活動を石川県全体に広げ、更なる会員拡大を願い、平成三年度に現在の石川県小学校社会科教育研究会に改称した。昨年度、研究大会を第三十回目の節目として、盛大に開催することができた。今日に至るまで、社会科教育を愛する本県の先輩諸氏の先生方のご尽力に深く感謝申し上げたい。



夏季巡検・会津若松市(震災復興の現状視察)

昨年、北陸新幹線の開通によって、全国からの観光客も増え、街が活気づき、城下町金沢・石川よさを県民も再認識しているように感じる。教育現場においても「まち・ひと・こころ」に焦点をあてた地域の教材開発や授業づくりに力を入れた社会科教育の実践研究が行われている。本会の研究主題「自ら社会に参画する力の基礎を養う社会科学習」を自分発・社会経由・自分行き」の具現化を目指して、精力的な授業実践が行われている。「教育とは子どもの心に火を灯すこと」「目の前の子ども達とのよさや可能性を最大限に引き出すこと」「学びを自分に返し、一歩うって出る子どもを育てること」自分発・社会経由・自分行きの切符は、子ども達の「輝く未来」に授ける教師愛である。(文責 金沢市立泉小学校 山田 裕司)

石川県小中学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

本研究会は平成五年(一九九三年)に石川県の小学校生活科に関する情報交換、研究調査、実践の推進を行い、その充実・振興を図ることを目的として発足した。平成十六年には、系統的に探究的な学びを育むことの必要性から総合的な学習にも研究範囲を広げ、石川県小中学校生活科・総合的な学習教育研究協議会と名称を改めた。発足以来、毎年研究大会を県内各地で開催し、石川県の生活科・総合的な学習教育の牽引を担ってきている。現在は、奥能登地区から加賀市まで県下三百名を超える会員数となっている。今年度は、十月二十八日(金)に加賀市立錦城東小学校において第二十四回石川県生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会を開催した。約百名の先生方に参加をいただき、二本の研究授業と二本の実践提案を中心に協議を行った。公開授業では、子どもの思いや願いが実現でき、場の設定の仕方や一人一人の気づきを深める教師の言葉かけなどについて具体的に学ぶことができた。実践提案では、自身の成長に気づかせる手だてや地域素材の活用の在り方などについて討議を行い、研究を深めた。各地区で開催される研究大会は、開催地区の先生方をはじめ石川県全体の先生方の授業力向上と子どもたちの生活科・総合的な学習に対する意欲の高まりに確実につながってきていると自負している。その他、毎年実施している夏季講演会にも力を入れている。今年度は、八月十二日(金)に、金沢市ものづくり会館において文部科学省視学官 田村 学先生をお迎えして「学習指導要領改訂の方向性」という演題で講演をしていただいた。主体的・対話的で学びのプロセスを大切にする学習の在り方について具体的にのお話を聞くことができた。当日は、県内各地から百三十名を超える会員が集まり、大変有意義な講演会となった。今後、中央の講師を招聘し、新鮮な学びを継続していきたいと考えて



加賀市大会の様子

さて、来る平成三十年十一月八日(木)・九日(金)には、本研究会にとつて、初めての試みとなる全国大会の開催を予定している。大会研究主題「ふるさととの大地とともに輝け未来へ」という大会研究主題のもと三つの研究の視点 ①つきたい力を育むカリキュラムのあり方 ②主体的・対話的で深い学びを培う学習指導のあり方 ③学びに向かう力をうみ出す評価のあり方を研究の柱として石川県の生活科・総合的な学習を全国に発信していきたいと考えている。[平成三十年全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会石川大会]を貴重な学びの場として前向きに捉え、石川県の各都市町が力を合わせ、実り多い研究を積み重ねていきたい。(文責 金沢市立大野町小学校 小澤 雅人)

平成二十八年度役員

- 会長 寺本 弓子(金沢・泉中)
副会長 山田 裕司(金沢・泉小)
総務部長 圓地 郁尚(金沢・菊川町小)
研究部長 坂根 順子(金沢・千坂小)
研究副部長 中村 玲子(小松・那谷小)
調整副部長 吉田 千尋(金沢・小将町中)
調整副部長 端野 久直(鳳珠・鶴川小)
広報部長 能波 裕司(金沢・額中)
広報副部長 山本 正美(羽咋・志賀小)
会計部長 塩栗与嗣男(白山・松任中)
会計監査 紺村 和也(野々市・野々市小)
細川都司(恵北・向粟崎小)

平成二十八年度会務報告

- 四月二日(土) 三役会
四月十三日(水) 第一回理事研修会
五月六日(金) 第二回幹事研修会
五月二十六日(木) 第二回理事研修会
六月三日(金) 第二回幹事研修会
六月十六日(木) 第一回代議員研修会
七月二十二日(金) 第三回理事研修会
八月十日(水) 第三回幹事研修会
八月十日(水) 小中学校教育研究会第四回研究大会
九月二十一日(水) 第四回理事研修会
十月十一日(火) 第二回代議員研修会
十二月六日(火)
十二月二十六日(月) 北陸三県中教研連絡協議会
二月九日(木) 第三回代議員研修会
二月十六日(木) 第六回理事研修会

平成二十九年 度 県内 開催 予定 の 研究 発表 会

全国大会

◆全国小学校家庭科教育研究会

・小松市立芦城小学校

・白山市立松南小学校

・金沢市立中央小学校

・十一月十六日(木)

・県立音楽堂邦楽ホール

・十一月十七日(金)

◆東海北陸地区大会

◆東海北陸小中学校音楽教育研究大会

・県立音楽堂

・金沢市アートホール

・十月二十七日(金)

◆県大会

◆県国語教育研究会

〔夏季大会〕

・県地場産業振興センター

・八月十八日(金)

〔奥能登大会〕

・鳳珠郡小・中学校

・小学校 十二月六日(木)

・中学校 十一月二十九日(水)

◆石川国語の会

・金沢市内小学校

・十二月九日(土)

◆県書写教育研究会

・河北郡市

・未定

◆県社会科教育研究会

・金沢市内小・中・高等学校

・十月

◆県小学校社会科教育研究会

・金沢市内小学校

・十二月二日(土)

◆県中学校数学教育研究会

・開催予定なし

◆県算数教育研究会

・能美市立寺井小学校

・十月十三日(金)

◆県理科教育研究協議会

・金沢市

・十月十八日(木)

◆県図工・美術教育研究会

・志賀町立志賀小学校

・志賀町立志賀中学校

・志賀町文化ホール

・十一月二十四日(金)

◆県学校体育研究会

・中能登

・十一月

◆県小学校体育研究会

・金沢市

・十二月下旬

◆県中学校技術・家庭科研究会

・加賀市

・十月

◆県中学校英語教育研究会

・能美

・十月～十一月

◆県学校道徳教育研究会

・開催予定なし

◆県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

・内灘町立大根布小学校

・十月二十四日(火)

◆県特別活動教育研究会

・小松市

・二月十六日(金)

◆県小中学校視聴覚教育研究協議会

・加賀市

・十一月十六日(木)

◆県学校図書館協議会

・七尾市立天神山小学校

・七尾サンライフプラザ

・十月二十七日(金)

◆特別支援教育研究大会

・野々市市

・十二月一日(金)

◆県養護教育研究会

・文教会館

・七月三十一日(月)・八月一日(火)

◆県公立小中学校教育事務研究大会

・加賀市文化会館

・八月二十四日(木)・二十五日(金)

※会場・期日は現時点の予定です。変更になることもありま
すので、ご了承ください。

石川県小中学校教育研究大会 第5回研究大会

- 期日 平成29年8月10日(木)
- 会場 県地場産業振興センター
- 日程と内容
 - 午前(10時～)
 - ・郡市町教育研究会協議会
 - ・各郡市町教育研究会代表による今年度の活動方針の協議、情報交換等
 - 午後(13時～)
 - ・開会式
 - ・記念講演
 - 講師 十文字学園女子大学 富山 哲也教授
 - 演題 「未定」
 - ・分科会
 - ①金沢市中教研音楽部会
よりよい授業を求めて鑑賞領域の指導と評価
 - ②河北郡市学校教育研究会外国語部会
英語によるコミュニケーション能力の育成
 - ③石川県学校道徳教育研究会
大地と人に学び 主体的に考え 心豊かでふるさとを愛する心の育成
 - ④内灘町学校教育研究会情報教育委員会
「NHK for School」を活用したアクティブ・ラーニング的な授業づくり
 - ⑤石川県小学校体育研究会
運動の中心なおもしろさを大切にした体づくり運動
 - ⑥出坂 愛子教諭(金沢市立三馬小学校)
子どもが創る生活科
 - ⑦八島 友志教諭(内灘町立向粟崎小学校)
ICT(タブレット、電子黒板)を活用した話し合い活動の利点
 - ⑧川辺 有紀教諭(金沢市立千坂小学校)
地域とつながるESD

編集後記

今回は、各郡市町の教育研究会や各教科等研究会の活動状況などを四つの団体から報告していただきました。どの研究団体も、本研究会のテーマである「石川の授業研究文化の継承と発展」に取り組んでいることがうかがえる内容です。他の研究団体も参考にさせていただき、各研究団体が授業実践を積み重ね、指導力向上に寄与できるように取り組んでいただくと願っています。

また、平成二十九年度の研究発表会等の予定も掲載いたしましたので、各研究発表会が盛会になりますよう、ご協力いただければ幸いです。

最後に、第十号発刊にあたり、たくさんの方のご協力やご支援をいただき、誠にありがとうございました。

(広報部 能波 裕司)

広報部

部長 能波 裕司(金沢・額中)

副部長 山本 正美(羽咋・志賀小)

幹事 羽岡 清美(金沢・北鳴中)

藤本 豊志(金沢・新神田小)

岸 洋平(河北・宇ノ氣小)

今本 満(白山・白嶺中)